2019年度第一回交通まちづくり公開講座

車に頼らなくても最低限の生活ができる移動手段が確保されれば、お年寄りが地域で元気に暮らせ、高校生が通学に苦労しなくても済みます。みんなが、いつまでも住み続けることができます。

そのような移動手段をつくる場合、コストに見合う社会的便益が生まれるのか。住民には、どのような役割と行動が求められるのか。

地域の持続可能性を高める公共交通のあり方を考えます。

◇日　時　　2019年11月10日(日)14:00～

◇場　所　　南砺市伝統芸能会館じょうはな座

◇内　容

講　演

・演題　地域の持続可能性を高めるための公共交通と住民の役割

・講師　福本　雅之氏

（合同会社おでかけカンパニー代表社員　名古屋大学客員准教授）

略歴：1980　年生まれ。名古屋大学大学院環境学研究科博士後期課程修了。博士（環境学）。名古屋大学大学院環境学研究科研究員、公益財団法人豊田都市交通研究所主席研究員などを経て、2019年4月より名古屋大学客員准教授。同年　5　月、合同会社おでかけカンパニーを設立。名古屋大学在籍中にスコットランド・アバディーン大学交通研究センターに派遣。中部地方を中心に国土交通省・自治体の公共交通に関する調査・計画策定・評価等を行う。委員として、岐阜県関市、中津川市、愛知県北設楽郡、静岡県沼津市などの地域公共交通政策に関わる。

パネルディスカッション

・パネリスト

福本雅之氏

（合同会社おでかけカンパニー代表社員　名古屋大学客員准教授）

南　眞司氏（南砺市政策参与、前南砺市民病院院長）

島田優平氏（井波地域の持続可能な交通網づくり協議会（仮）事務局）

林　幸則氏（南砺市地方創生推進課交通政策係長）

・コーディネーター

呉西地区交通まちづくり市民会議会長　松本久介

主催：呉西地区交通まちづくり市民会議

共催：南砺の城端線を活かす会